

参考

主な不法無線局の概要と妨害事例

1 不法アマチュア無線 ～消防・救急用、鉄道用などの重要無線通信を妨害！～



アマチュア無線局を使うためには、無線従事者資格とアマチュア無線局の両方の免許が必要です。

不法アマチュア無線の中には、アマチュア無線用に決められた周波数帯以外の周波数を使用できるように改造して、他の無線通信に妨害を与える悪質な事例が多発しています。

〈妨害事例〉 ・重要無線通信（警察用無線、消防・救急用無線、鉄道用無線等）を妨害し、人命の安全、財産の保護等に係る活動が阻害される。

2 外国規格の無線機 ～防災行政用、放送事業用無線などの重要無線通信を妨害！～

最近、一部の店舗、通信販売業者、インターネット等で、外国規格の無線機が販売されています。外国規格の無線機は、日本の電波法令で定める技術基準に合致せず、日本国内で使用すると電波法違反になる無線機が多くあり、他の無線局等に妨害を与える恐れがありますので、購入・使用の際は、技術基準への合致の有無を十分確認してください。

外国規格の無線機を日本国内で使用するためには、日本の技術基準に適合しているかを証明する必要があります。

証明を受けた無線機には技術基準適合証明マーク（技適マーク）が付されています。

技術基準適合証明マーク

現行のもの



平成7年3月までのもの



外国規格無線機の例

